「森 正明」さんは、
私の大切な仲間です。

神奈川県の財政は「不十分な歳入」と「硬直化した歳出」という悪循環にあります。そうした中、神奈川県議会のトップリーダーとして、常に県政改革の先頭で戦っているのが森正明さんです。森正明さんの県政改革に皆様のお力を貸してください。私も応援しています。

衆議院議員／河野 太郎

森 正明 後援会事務所

〒254-0811 平塚市八重咲町26-8
TEL.0463-21-8655/FAX.0463-20-2002

皆さんからのご意見やご相談は、私のホームページまでお寄せください。

森正明OFFICIAL WEBSITE
http://www.morimasaaki.net
https://www.facebook.com/masaaki0712

森 正明 Profile　Masaaki Mori

昭和36年7月12日生まれ(現在 平塚市在住 妻・子供3人)／昭和59年3月 福岡大学卒業(中・高校教員免許取得)／昭和59年4月 フジタ工業(株)入社／昭和63年サッカー日本代表選出(国際試合33試合、1990W杯イタリア大会アジア予選出場)／平成7年 ベルマーレ平塚(現：湘南ベルマーレ)の選手としてJリーグ昇格に貢献。引退後、コーチ、ジュニアユース監督、地域コミュニティ担当を歴任。地元の小・中学校巡回指導、神奈川県サッカー協会技術委員、日本体育協会・日本サッカー協会A級ライセンス取得／平成11年 神奈川県議会選挙初当選／平成27年 神奈川県議会選挙5期当選／平成28年5月17日、平塚市選出議員として32年ぶりとなる神奈川県議会議長就任

●神奈川県での活動

環境審議会委員／地方職業安定審議会委員／土地開発公社評議員／神奈川県スポーツ推進審議会委員／神奈川県社会福祉審議会委員／教育グループ グループ長／北朝鮮に拉致された日本人を救う神奈川県議団有志の会／神奈川県議会議員サッカー部2014監督／かながわの教育を考える議員の会／神奈川カジノ建設研究会幹事／神奈川県の農業を推進する会／神奈川の郵政事業を考える議員の会／かながわの専各教育の向上を考える議員の会／神奈川県サッカー協会副会長／かながわアスリートネットワークメンバー／神奈川県太鼓連盟顧問／神奈川県養豚協会議員顧問／神奈川県監査委員／広域水道企業団議員

●地域での活動

2002年 FIFAワールドカップ横浜開催推進委員会委員／ワールドカップ ナイジェリアキャンプ地誘致委員／平塚市立松が丘小学校PTA会長／大野中学校区教育力ネットワーク連絡協議会会長／進和学園文化スポーツ振興会会長／平塚自衛官募集相談員／平塚福祉芸能の集いの会顧問／湘南フットサル大会名誉会長／湘南高砂部屋後援会会員／平塚市PTA連絡協議会会長／湘南ベルマーレ市民応援団副団長／青葉杯親善少年野球大会会長／湘南ダンベル体操協会指導員／中原日枝神社神輿保存会会員／前鳥神社崇敬会副会長／平塚硬式空手道協会大会名誉顧問／平塚ふじみ園友の会会長

●議会活動

文教常任委員会委員／厚生常任委員会委員／県民企業常任委員会委員／中小企業・雇用対策特別委員会委員／スポーツ・青少年・希望の年特別委員会委員／福祉推進対策特別委員会副委員長／税財政改革特別委員会委員／建設常任委員会委員長／感染症対策特別委員会委員長／人材活用特別委員会委員長／防災警察常任委員会委員長／地球温暖化対策特別委員会副委員長／議会運営委員会委員長／予算委員会委員長／議会改革検討会議座長

●所属議員連盟

神奈川県議会歩け歩け議員連盟／スカウト神奈川振興議員連盟／神奈川県議会羽田空港・国際化推進議員連盟／神奈川県議会なぎさ議員連盟幹事／がん撲滅をめざす議員連盟／神奈川県都道府県議会制度改革推進議員連盟／神奈川県の学童保育(放課後児童クラブ)を支える議員連盟／神奈川県議会スポーツ振興議員連盟副会長／神奈川県議会日中友好議員連盟会長／神奈川県議会日韓親善議員連盟／神奈川県議会日華親善議員連盟／神奈川県議会防衛議員連盟幹事長／神奈川県議会神道議員連盟／神奈川県議会武道振興議員連盟／神奈川県議会スポーツ議員連盟会長／神奈川県議会みどり議員連盟／かながわ自民党商店街振興議員連盟幹事／神奈川県の障がい者地域作業所を支える議員連盟幹事長／かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟

●政党活動

自民党県連青年局次長／自民党県議団団長／自民党県議団政務調査会副会長／自民党県連広報本部長／自民党県連副幹事長／自民党県連教育グループ長

●ボランティア活動

長嶋茂雄主宰「ウエーブ2000」の一員として全国各地で少年スポーツの指導／神奈川県下のサッカースクールの指導及び神奈川県のサッカー指導者のための指導教室／湘南海岸をきれいにする会 会員／違反屋外広告物除去協力員／ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金活動／ホスピス「ピースハウス」チャリティーコンサート協力

＜以上、前・現職含む＞

1 ヘッドワーク

「人が動く」と書いて構成される「働く」という言葉。英語で言うとワークを、私は自身の大事なテーマとしてきました。一つ目は、しっかりと段取りを決め準備をしながら戦術を組んでいく（頭を使った）ヘッドワークです。

2 ハートワーク

二つ目はスポーツ選手から政治家に転身して20年、選手時代から継続してきたこと。スポーツ指導の基本は、どんな仕事に対しても気持ちを込めることです。人には思いやりやリスペクトを持つことによって、はじめて伝わるもの。相手の気持ちを考えながら物事を伝えていくハートワークです。

3 フットワーク

三つ目は文字通り足を使って動くフットワークです。物事の起きている現場に足を運ばなければ人の気持ちは理解できません。元サッカー選手だからこそ足を使って動く、政治家になって20年間、変わらず続けてきました。

4 ネットワーク

四つ目は議会と県の進捗状況を把握し、スピーディーに動き返答する、情報を活かすこと。インターネットやSNSが当たり前になった情報化社会の中で正しい情報を見極めることはもちろん、人との関係性や人脈といったネットワークを県民の皆様との対話の中で20年以上築いてきました。

5 チームワーク

そして何より大事なのは五つ目のチームワーク。他県の事例も把握しながら市政・国政との連携をはかる、一人で物事を動かすことは到底できません。人との交流や会話のなかに課題解決のアイデアやヒントがあり、結果を導き出すこともできます。

経済・教育・福祉・街づくり・スポーツ 5つのワークで見極めます！

スポーツ選手から県議会議員に転進して20年、学ばせていただいたことは「街を変える」には「経済・教育・福祉・スポーツ」全てが一体となり、国・県・市のパイプをより強化することが大事だということです。さらに昨今の課題解決は、垣根を越えていくことが求められています。例えば教育分野の問題解決のためには、福祉・スポーツなど他分野と共に解決することが求められていると現場で痛感しています。これは施設設立も同様です。経済・防災・興行といった観点から、設立の中身とタイミングを見極めていくこと。中長期的な視点で物事を判断する・見極める力が欠かせません。そのために必要なのは私自身が20年間、多くの壁を乗り越えることができた「5つのワーク」だと考えています。2016年に平塚選出の議員としては32年ぶりの議長職を経験できたのは、5つのワークの集大成です。これからの4年の中で、2020東京オリンピック・パラリンピックに神奈川県として出来る限りの協力体制を整えること、環境を整備することを継続すると共に、国際大会の経験を神奈川県と平塚市にとってのレガシーにしていくよう努めてまいります。

また、平塚市のポテンシャルをもっと引き出していけるよう動いていければと考えています。安心・安全の考え方を例にしますと、近年、事件や事故は減っているものの、安心を市民が感じる「体感治安」を上げていかなければ不安やイメージは向上しません。楽しさ・魅力のあることを体感していく方向性をしっかりと打ち出し、ヴィジョンを明確にしていくことが大事だと思いますし、政策や施設と同時に打ち出してこそ、市民に届くものだと考えてます。平塚は海も山もサッカーチームもある。道路網の整備をはじめ、県として出来ることはこれからもずっとやっていきます。20年間もの間、私に見極める力を育んでいただいた平塚市の皆様に、私の経験を活用していただけるよう、これからも「正しく、明るくフェアプレー」の初心を忘れず、皆様のお役に立ちたいと強く思っております。